

### ～博多屋・本店～



台風5号が九州に上陸し、大雨を降らせた翌日、嘘のように広がった青空に迎えられて、九州でも有数のお茶の里、電照菊の産地、八女市の悠々とした茶畑と降り続いた雨に満たされ陽の光をあびて煌めく田んぼを、いつまでも車窓から眺めながら「おりなす八女」市民会館に着いたのは、6月23日土曜日のお昼前。

この日は東京から、2009年『東京夜曲』でデビューし、昨年セカンドシングル『純情』のリリースで人気も上昇！全国で活躍中のかとうれい子ちゃん、そして彼女の師、博多屋・本店同様、育ての親でもある、たきのえいじ先生にも参加頂いてのチャリテイ、ダブルキャンペーンだったのです。



主催を受けて頂いたのは、博多屋・本店メンバーの一人でもあり、当地・八女を中心に幅広くボランティア活動に貢献されている、高雅会という団体の会主リュウジこと井上雅之さんなのです。

会場の手配から諸々の心配り、美味しい食事まで…。もちろん、キャンペーンのステージでは、この日19名中3人の男性ヴォーカルの一人として活躍して頂いたのです。

埋め尽くされた市民会館の前列約150の招待席に会場してくださったのは、八女市の配慮で案内をして頂いたいくつかの施設の皆さん。唄う曲の間奏ごとに聞こえる力一杯の拍手。そして会場全体の暖かい拍手が今でも深く心に残っているのです。

12時半から開催された第一部では、地



元で馴らしている歌自慢の皆さんや歌謡教室の先生方での歌謡ショーで盛り上がり、第2部がキャンペーン、最初に新曲『博多川恋歌』で登場したのは、定番（第九をイメージした）白ブラウスに黒パンツ（スカート）姿で揃えた我々、博多屋・本店。カップリング曲、デビュー曲と聴いて頂き、後半は昭和の懐かしいヒット曲をメドレーで綴った「メドレーコーヒールンバ」を、19人でハモった時、会場のおちこちから口ずさむ声広がった時、あの時の感触を耳に焼き付けていつまでも忘れたくないと思っただけです。

かとうれい子ちゃんのコーナーでは、たきの先生とギターでコラボ！優しく包むギターの音に、伸び伸びと唄うれい子ちゃんの姿が、とても印象的

#### ◎今後のスケジュール

9月19日(水) 発売  
 アーティスト名: 山科屋  
 タイトル: 京都つづら坂 CW/ 三百六十五夜  
 価格: ¥1,200-(税込)  
 販売元: クラウン徳間ミュージック販売株式会社  
 10月中旬発売(予定)  
 アーティスト名: YOKOHAMA屋  
 ※演歌ユニットが続々と始動開始!!!  
 乞うご期待!!!!

だったのを覚えていきます。

エンディングはステージ中央に置かれたグランドピアノに、たきの先生、その周りを博多屋・本店と、かとうれい子ちゃん、大合唱！

ラストは、阪神大震災復興ボランティア曲『心の糸』で締められた。

このところ、締めめに披露の『心の糸』は、折しも東北沖大震災の直後にデビューした博多屋・本店の大好きな演歌。日本の心を私たちが唄うことで、少しでも今の日本に元気を届けたい…。17年前にたきのえいじ先生が深く願った、杉本真人先生と共に造り上げた日本復興への心と融合するからなのです。

今の愛する仲間たちが、本当に日本全国に拡がって、本当に全員で一緒に唄える日を、その日が必ず来ることを、私：ケンには心の底から信じているのです。